

単元名 4 心の動き 一項目を立てて書こう 読み手の立場に立つ
配当時間 3時間
単元の目標 (1) 書いた案内文を互いに読み合い、自分の表現の参考にすることができる。

案内文の形式や特

有の語句について理解することができる。

(2) 行事等の内容を、相手に分かりやすく伝えるために項目を整理してまとめることができる。

(3) 案内文を相手や目的に応じて伝えるべき事柄を整理し、項目の立て方を考えて書こうとする。

標準的な展開例

10210204_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 案内文の形式や必要な項目について確かめ、自分が書く案内文のテーマを決める。 ○案内文の書き方について確認する。 ★案内文について知ろう。 ○案内文に必要な情報を整理する。 ○「案内文の下書き」を書く。 2 案内文の下書きをする。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★案内文の下書きを完成させよう。 ○案内文の下書きを書く。 ○学習を振り返る。 3 読み手の立場に立って推敲し、清書する。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★案内文を推敲し、清書しよう。 ○推敲の練習をする。 ○前時で書いた「案内文の下書き」を推敲し、清書する。	・日常用いられている身近な案内文などを用意し、示すとよい。 ・校内で配付される文書などを数点提示できるよう準備しておくといよい。 ・「合唱コンクールの案内」(p. 119)を用い、案内文全体の形式を確認する。 ・誰に宛てた案内文をつくるのかを考えさせる ・「わかりやすい案内文を書くには」(p. 118)を参考に、相手の立場に立って情報を選び、項目を立てて整理させる。 【評】案内文の書き方を学ぶ活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・前時の続きから取り組ませる。 ・相手に分かりやすいよう、項目の順序や表現を工夫させるとよい。 【評】案内文を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・作成した案内文について、友達と工夫したところを伝え合い、改善点を助言させ合う。 【評】友達との話し合い活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・リード文を読み、推敲の意味を確認する。 ・「案内文の例」(p. 119)を参考に、「体育祭の案内」(p. 120)を推敲させる。 ・「文章の推敲・原稿用紙の使い方」(p. 275)を参考に、情報を補ったり削ったりさせる。 ・大事な情報が抜け落ちていないか、友達と確認をさせる。 【評】教科書の例を推敲する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・「推敲の観点」(p. 120)を参考に推敲させる 【評】案内文を推敲したり清書したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する

【 備 考 】

この単元では、物語と記録文を主に「展開」という観点から読み取することを目的としている。学習指導要領解説にあるように、「構成」とは文章の組み立てなどを静的に捉えたもので、「展開」とは、人物の心情や事実の変化に沿って動的に捉えたものである。「構成」を前提としつつ「展開」に注意し、書き手の思考の流れを生き生きと読み取らせたい。

また、「星の花が降るころに」は、友情の尊さを理解する内容となっている。これは道徳のBー(8)友情・信頼にあたり、これを機会に、互いに励まし合い、高め合う友情について考えさせたい。「大人になれなかった弟たちに……」は、生命の尊さを理解し、家族の愛情の深さに気付く内容となっている。これはDー(19)生命の尊重と、Cー(14)家族愛にあたり、かけがえのない生命を精いっぱい生きることの尊さと、家族の愛情の深さや家族の絆を深めようとする気持ちに気付かせたい。